

2021 年度介護教員講習会「介護福祉学」シラバス

淑徳短大名誉教授 亀山幸吉

★はじめに★「介護福祉学」の講習会における目標から介護福祉及び関連する学問領域から幅広く、介護福祉と人間生活について学び、尊厳と自立、国際生活機能分類(ICF)の考え方に基づいた介護福祉士の専門性について理解を深め、介護福祉士養成教育の中核に据えて教育実践力として追究してほしいと思います。宜しく願います🍀

★第1日★(10月30日 土曜)→介護福祉の概念～(1)尊厳と自立を支える生活支援 (2)国際生活機能分類(ICF)の概念と生活支援 (3)介護技術から生活支援への変化→→ポイント→初日から最重要テーマを考究します。なぜ「介護」ではなく「介護福祉」なのか！？なぜ1980年の「国際障害分類」(ICIDHD)が2001年「国際生活機能分類」(ICF)に変わったのか！？介護技術から生活支援技術になぜ変えられたのか！？

★第2日★(11月14日 日曜)→
介護福祉の成立と進展の背景 (1)成立の背景と歴史 (2)求められる介護福祉士像→→ポイント→看護と介護の共有性と独自性！？障害者介護と高齢者介護！？新カリキュラムでの「求められる介護福祉士像」は今までと、どこが違うのか！？

★第3日(11月28日 日曜)★介護福祉士の専門性 ・介護福祉士の倫理性 ・介護福祉士の機能と役割→→ポイント→認知症や難病者、障害者、重症心身等の対象理解は極めて高度な専門性や虐待多発の中で倫理性や機能と役割が介護福祉士教育が問われるところかと思えます。考えましょう！

★第4日(2022年1月8日 土曜)★介護福祉士に関わる諸制度 ・介護福祉士における多職種連携・協働 ・介護福祉士と地域のネットワークづくり→→ポイント→我が国の最重要課題として浮上している「地域共生社会」や「地域包括ケアシステム」等との関連理解が求められる内容でもあります。

★第5日(1月23日 日曜)★海外における介護福祉分野・領域の動向 ・介護福祉分野・領域の今後の課題→→ポイント→最初に30数年前に英国に研修した際、「名前の呼び方」は本人の希望で！と教えられ、また北欧で筋萎縮側索硬化症のご夫婦が在宅で24時間ヘルパーの支援があったり、お二人の笑顔が忘れられません。ドイツ ハンブルグでニィリエ

のノーマライゼーションの理論と実践に触れたり、ハンセン病に関する講義をうけ、日本の井深八重がマザーテレサと並び教えられたり(国際誌 タイム誌に並び紹介される)…………。

★毎回、

オンラインで講義をさせていただきますがズームで質疑応答が出きればと思います😊

★★テキストは介護教員講習会で「介護福祉学」(中央法規出版)を指定していますが、今は絶版になっていますので現時点でも紹介したい内容は触れつつ、私の独自の理論考究からメールか資料を事務局を通じてレクチャーさせて下さい。宜しくお願いします😊共に学べることを嬉しく楽しみにしています😁(淑徳短大名誉教授 亀山幸吉)